

# 西宮市水道事業経営戦略に基づく取組みの評価報告書 概要版〈令和3年度（2021年度）〉

## 投資・財政計画（投資・財政計画 P14）

（単位：千円、税抜）

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)			令和4年度 (2022年度)	検証<計画値との差> (主な増減理由)	評価
	決算	計画A	決算B	差B-A	計画		
収益的 収支	給水収益	7,862,264	8,699,768	8,779,057	<b>79,289</b>	8,640,949	コロナなどにより給水量が計画を上回ったため
	受託工事収益	13,927	23,325	7,524	<b>△ 15,801</b>	23,325	配水管移設等の工事件数が計画を下回ったため
	分担金	258,995	234,328	283,241	<b>48,913</b>	231,495	給水装置工事の件数が計画を上回ったため
	長期前受金戻入	795,680	764,217	766,111	<b>1,894</b>	768,139	
	その他	938,369	500,774	577,502	<b>76,728</b>	493,560	計画になかった一般会計からの繰入があったため
	計	9,869,235	10,222,412	10,413,435	<b>191,023</b>	10,157,468	
	職員給与費	1,420,140	1,411,343	1,347,011	<b>△ 64,332</b>	1,426,026	
	(うち退職給付引当金繰入額)	90,725	82,596	97,834	<b>15,238</b>	81,557	人事異動等により退職給付引当金繰入額を除いた職員の給与費が計画を下回ったため
	(うち上記以外)	1,329,415	1,328,747	1,249,177	<b>△ 79,570</b>	1,344,469	
	受水費	3,304,810	3,432,613	3,433,648	<b>1,035</b>	3,429,674	
支出	受託工事費	15,141	22,487	8,612	<b>△ 13,875</b>	22,487	配水管移設の工事がなかったため
	(うち職員給与費)	5,357	5,873	5,801	<b>△ 72</b>	5,873	
	減価償却費等	2,544,902	2,582,615	2,516,087	<b>△ 66,528</b>	2,622,067	
	支払利息	292,768	323,753	271,421	<b>△ 52,332</b>	322,819	企業債の借入利率が計画を下回ったため
	物件費等	1,664,379	1,883,616	1,745,327	<b>△ 138,289</b>	1,956,214	委託料や修繕費が計画を下回ったため
	計	9,242,140	9,656,427	9,322,106	<b>△ 334,321</b>	9,779,287	
収支差引(収益的収支)	627,095	565,985	1,091,329	<b>525,344</b>	378,181		
前年度利益剰余金	4,326,239	3,767,008	4,096,634	<b>329,626</b>	3,790,757		
利益剰余金(補てん財源使用可能額)	4,953,334	4,332,993	5,187,963	<b>854,970</b>	4,168,938		
利益剰余金使用額(補てん額)	856,700	542,236	831,400	<b>289,164</b>	683,583		
当年度末利益剰余金	4,096,634	3,790,757	4,356,563	<b>565,806</b>	3,485,355		

収益的収入においては、新型コロナウイルス感染症による生活様式の変化や活動自粛の影響等により給水収益が計画を上回っており、対計画比で約1億9,100万円の増となりました。  
一方、収益的支出においては、退職給付引当金繰入額を除いた職員の給与費が計画を下回ったほか、委託料や修繕費などの物件費等が計画を下回ったことなどから、対計画比で約3億3,400万円の減となりました。  
その結果、純利益は対計画比で約5億2,500万円の増となりました。

（単位：千円、税抜）

	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)			令和4年度 (2022年度)	検証<計画値との差> (主な増減理由)	評価
	決算	計画A	決算B	差B-A	計画		
資本的 収支	企業債	1,460,700	1,766,700	1,419,700	<b>△ 347,000</b>	1,447,300	建設改良費が計画を下回ったため
	国庫補助金	0	0	0	<b>0</b>	0	
	工事負担金	11,149	24,000	20,401	<b>△ 3,599</b>	20,000	負担金工事が計画を下回ったため
	その他	49,766	604,346	584,004	<b>△ 20,342</b>	41,908	
	計	1,521,615	2,395,046	2,024,105	<b>△ 370,941</b>	1,509,208	
	建設改良費	2,903,803	3,690,484	3,233,255	<b>△ 457,229</b>	2,820,101	施工・発注時期を見直したため
	(うち職員給与費)	349,516	361,253	347,050	<b>△ 14,203</b>	353,571	
	企業債償還金	1,182,544	1,135,214	1,135,213	<b>△ 1</b>	1,103,066	
	その他	100,852	103,318	100,000	<b>△ 3,318</b>	103,318	
	計	4,187,199	4,929,016	4,468,468	<b>△ 460,548</b>	4,026,485	
収支差引(資本的収支)	△ 2,665,584	△ 2,533,970	△ 2,444,363	<b>89,607</b>	△ 2,517,277		
退職給付引当金調整額	18,222	△ 29,623	△ 60,009	<b>△ 30,386</b>	△ 20,234		
当年度資金過不足	△ 271,045	△ 179,210	336,933	<b>516,143</b>	△ 305,402		
資金残高	4,251,060	3,790,757	4,587,993	<b>797,236</b>	3,485,355		
当年度末利益剰余金	4,096,634	3,790,757	4,356,563	<b>565,806</b>	3,485,355		
損益勘定留保資金	154,426	0	231,430	<b>231,430</b>	0		
企業債残高	19,291,185	21,027,471	19,575,671	<b>△ 1,451,800</b>	21,214,705		

資本的支出においては、施設等の整備時期の見直しや工事の翌年度への繰越などにより建設改良費が計画を下回ったことから、対計画比で約4億6,100万円の減となりました。  
一方、資本的収入においては、事業費の減を受けて、その財源となる企業債なども計画を下回り、対計画比で約3億7,100万円の減となりました。  
その結果、収支不足額は対計画比で約9,000万円の減となりました。

令和3年度末の資金残高は対計画比で約7億9,700万円増の約45億8,800万円となりました。

<施策の目標ごとの評価>

●施策目標「安全」

水源から蛇口まで、安全な水道水を供給するための適切な水質管理ができています。また、水道 GLP に基づき高い精度で水質検査を行うとともに、近隣の水道事業者等と共同で水質検査を実施するなど検査体制の効率化を図っています。

●施策目標「強靱」

管路の更新に合わせて耐震化を進めています。浄水場や配水池等については、耐震診断により配水池の耐震性能を確認したほか、送配水システムの再構築や耐震化に向けて工事の設計業務を進めています。

また、事業継続計画に基づく各種訓練の実施や、水道事業者及び民間事業者等との災害時における応援協定の締結など、災害等に迅速に対応できる組織体制を構築しています。

●施策目標「持続」

令和 2 年度に新型コロナウイルス感染症対策として水道料金の減免を実施したことから、経常収支比率や料金回収率等は一時的に悪化していましたが、例年の水準に戻りました。今後も経費の削減や収入の確保に努め、経営基盤の強化を図る必要があります。

人材育成については、職員数の削減を進める中で、専門性の高い知識や技術の確実な継承が課題となっていますが、ベテラン職員の知識や経験を活かせるような職員配置や現場での実務を通じた指導により知識・技術の継承に取り組んでいます。

環境対策としては、エネルギーの効率的な利用や建設副産物のリサイクルが進んでいると言えます。

<まとめ>

水質監視や水質検査、災害時等における対応力の強化、環境対策などの取組みについては、以下の評価結果のとおり 33 の取組み中、評価 A と B が 32 となっており、着実に成果が挙がっています。その他、協議・検討を行っている段階の取組みもありますが、概ね計画どおりに進んでいます。職員の技術力の確保及び強化の取組みにおいては事業の遅れが確認されましたが、改善に向けた検討を進めています。

評価結果の集約

施策 目標	評価の分類			主な 取組み数
	A	B	C	
安全	2	6	0	8
強靱	3	7	0	10
持続	1	13	1	15
計	6	26	1	33

A「順調」…問題なく進展している

B「概ね順調」…具体的な成果は出ていないが協議や調査などを進めている、または計画期間終了までに目標を達成できる見込みである

C「遅れている」…進展が見られない、または計画期間終了までに目標を達成できる見込みがない